

令和3年度 南越前町みらい創造活動推進事業 Q & A

Q1 南越前町はどのような町ですか。

活動を検討する際、参考となる資料などを教えてください。

A 福井県南越前町は、南条町、今庄町、河野村の3町村が合併し、平成17年1月に誕生しました。

福井県のほぼ中央に位置する、人口約1万人のまちです。東は岐阜県、南は滋賀県と接しています。町の中央には日野川が流れ、上流は豊かな森林に恵まれ、下流は田園地帯が広がっています。西は日本海に面し、越前加賀海岸国定公園に指定された海岸が続いています。初夏には艶やかで優しげな花はす、冬には可憐な越前水仙が咲き、「海・山・里」の美しいまちです。

また、古くから交通・交易の要衝として人の往来を支えてきた歴史があり、江戸時代に宿場町として栄えた「今庄宿」や、旧北陸線のトンネルを中心とした「鉄道遺産群」（日本遺産）、北前船寄港地として栄えた歴史文化が残る「河野北前船主通り」（日本遺産）など、歴史文化も魅力です。

【参考 URL】

- ・ 第2次南越前町総合計画（後期基本計画）
<https://www.town.minamiechizen.lg.jp/tyousei/701/p003198.html>
- ・ 南越前町人口ビジョン及び南越前町まち・ひと・しごと創生総合戦略
<https://www.town.minamiechizen.lg.jp/tyousei/709/p002125.html>
- ・ 広報南えちぜん
<http://www.town.minamiechizen.lg.jp/kouhou/index.html>
- ・ 南越前町地域おこし協力隊
<https://www.town.minamiechizen.lg.jp/tyousei/709/p001409.html>
- ・ 南越前観光情報サイト
<http://www.minamiechizen.com/>
- ・ 南越前町移住定住支援サイト「南えちぜん暮らし」
<https://www.minamiechizen-iju.jp/>

Q2 南越前町のことをよく知りません。ゆかりもなく、南越前町に行くことも難しい状況だと考えています。どのように接点を持てばよいのでしょうか。

A まずは、オンライン説明会や個別相談会に参加してみましょう。令和2年度のまちみらいチャレンジ参加者から活動の様子を聞くこともできます。ご相談ください。

Q3 この事業は、「地域課題を解決するための取組支援」や「政策プランコンテスト」のような事業でしょうか。

A そのような事業とは異なります。

実施要項「1 目的」(P 1) のとおり、本事業は、学生の皆さんの「学びの継続」と、時代に即した「地域での挑戦」を広く支援するものです。

新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、学生の皆さんが地域をフィールドに学び、挑戦する機会が減少していること、地域でも新たな課題や変化に対応していくことが必要であることを捉え、今できる地域での挑戦を応援することで、活力ある地域に繋げていきたいと考えています。

南越前町にゆかりのある方はもちろん、これまで関わりのなかった方でも、本事業をきっかけに、地域を知り、地域を活かしていただきたいと考えています。

自分に合う形で、価値がある、楽しむ場として、地域の可能性を探るものです。幅広い活動を応援する趣旨ですので、ぜひこの機会を活かしてください。

Q4 まちみらいチャレンジは、「南越前町に関連のある活動を自由に設定し、学生が主体的に取り組むもの」とありますが、自由に活動できるということでしょうか。想定する内容等を教えてください。

A 南越前町に関連のある活動であれば、幅広い活動を応援したいと考えています。

活動は、自分自身が「今何をしたいか」という思いと、南越前町というフィールドを活かす視点を持ち、自由に設定してください。自分自身が「価値がある」と感じることができるものを、楽しみながらぜひ行動に移してください。

Q5 フィールドワークのような調査研究ではなく、ロゴデザイン、楽曲・絵画・動画の作成などの創作活動でも「まちみらいチャレンジ」として挑戦できますか。

A 実施要項記載の要件を満たしていれば、参加申込みが可能です。自由な発想で検討してください。

Q6 挑戦したいことがありますが、南越前町の活性化に繋がるかどうか分かりません。このような活動も対象になりますか。

A 地域に溢れている豊かさの多くに気づき、自分自身が楽しめることをできる範囲でいっぱい楽しむことは、地域のエネルギーに結びついていくと考えます。地域での出会いを楽しみながら、自分に合う形で挑戦する学生の皆さんを応援する企画ですので、挑戦したいことがあればぜひご応募ください。

Q7 卒業論文等の研究のフィールドにしたいと考えています。

複数ある研究対象の一つという位置づけですが、対象になりますか。

A 卒業論文等の研究のフィールドとしての活用も可能です。

「まちみらいチャレンジ」は、南越前町をフィールドとした「挑戦」です。実施要項記載の要件を満たせば、どのような方法でも構いません。「小さな一歩」となる活動を応援します。

活動終了後には、活動報告書の提出と活動報告会での成果発表が必須です。また、活動の様子や活動報告書等の内容は、町のホームページ等にも掲載しますので、この点を踏まえ、広く一般に報告できるような内容としてください。南越前町の町民の方や関わりがある方に気付きを与えたり、地域の面白さ・楽しさが伝わるような活動を期待します。

Q8 既に取り組んでいる活動を対象にすることはできますか。

A 活動が完全に終了しているものは対象外ですが、参加決定通知後の令和3年9月から令和4年2月までに取り組むものは対象とします。

今までに取り組んだ活動を発展させる場合は、従来の活動と新たに開始する活動を明確にすることが必要です。

Q9 「活動状況や成果を積極的に発信する等、他者に情報や思いを共有する内容であること」とは、具体的にどのようなことですか。

A 自身の活動の状況をブログやSNSで発信する方法も考えられますが、SNS等での発信に限るものではありません。オンラインやオフラインでのイベントのほか、家族・友人等の身近な人に活動を相談・共有したり、ゼミでの発表など、それぞれの事情に合わせ、何らかの形で活動が見えたり、双方向のものにしたり、伝えるような工夫をしてください。

なお、活動状況及び活動成果については、町のホームページ等に掲載します。

Q10 「活動報告書の提出」と「活動報告会への参加」は必須ですか。

A 「活動報告書の提出」と「活動報告会への参加」は必須です。活動報告会への参加が困難な場合には、成果発表に関する動画を提出していただくことで、参加扱いとするなど対応しますので事前にご相談ください。

Q11 新型コロナウイルス感染症拡大により、想定していた活動が実施できない場合はどうしたらよいでしょうか。

A 審査基準記載のとおり、活動計画時において、新型コロナウイルス感染症予防の視点を持ち、予防策・対応策等を考えた計画であることが必要です。やむを得ない理由がある場合には、早めにご相談ください。

Q12 現地での活動は必須ですか。オンラインのみでの実施でも可能ですか。

A 南越前町に来町して実施する活動が必須ではありません。移動に制限がなく状況が許す場合は、南越前町に来町しての活動をお勧めします。

オンラインのみでの実施も可能ですが、来町できない場合でも、町内在住者やゆかりのある方の協力を得るなど、どのように南越前町との関わりを持つかを含めて工夫してください。相談に応じます。

Q13 審査のポイントを教えてください。

A 実施要項「7 審査」(P2)記載の審査基準のとおり、審査を行います。これを踏まえ、参加申込書兼活動計画書において活動内容等を記載してください。

まちみらいチャレンジは、計画を立てること以上に、小さくても行動すること、実践することに重点を置いています。半年間という限られた時間での活動であるため、できる範囲からスタートし、段階的に楽しみながら取り組んでください。小さな通過点を決めて、一歩ずつ進めていくことができるよう、必ずやりたいこと、できればやりたいことなどを整理し、実現可能な計画としてください。

Q14 地域の人や滞在場所の紹介など、活動のサポートをお願いできますか。

A 南越前町で活動した経験のある方をメンターとし、希望に応じて活動の相談に応じたり、地域の情報をお伝えする等、主体的な活動実施のための支援を行います。

また、参加申込時点で活動の実施にあたり、悩んでいることや町に協力してほしいことがあれば、参加申込書兼活動計画書に記載してください。

町内には、南越前町地域おこし協力隊 OB・OG が運営する宿泊施設、滞在可能な施設がありますので、参考にしてください。

【南越前町地域おこし協力隊 OB・OG が運営する施設】

- ・地域まるっと体感宿 玉村屋 <https://tamamuraya.jp/>
- ・Daisan <https://www.facebook.com/daisan2021>